

「環境先進都市の創造に向けた議員懇談会」議事録

参加政党 日本共産党

参加議員 殿村氏、佐藤氏、佐々木氏

場所 市民フォーラム視聴覚室

日時 10月7日(水) 16時から17時30分

議 皆様のこれまでの努力に敬意を表したい。その上で、今後は廃プラの問題も重要な課題、企業の責任、チェック体制の強化も進める必要がある。生ゴミの堆肥化等で、土作りをし、生産性を高めていくことも大切

議 議員をしていると、活動が広範囲なため、ゴミのことを考える間もないが、町田の6割が集合住宅という状況を考えると、小山田桜台で増えつつある大型生ゴミ処理機の導入も考えなければならないと思う。それには公団、自治会も含めて普及を考えて生きたい。一次生成物を管理するシステムが出来ないと広がらないのでは・・・廃プラも問題、拡大生産者責任という観点からも、国への働きかけの必要もある。

* やっと予算化され、北部丘陵で家庭生ごみの堆肥を使った実験農場が始まる。

議 もう少し市が早く取り組んでいれば解決していた部分もあったと思う。

議 皆さんの積極的な取り組みには敬意を表したいと思う。 私たちもゴミの存在と、その意義を市民と共に考えて生きたいと考えているが、ゴミの収集の民間委託に関しては疑問をもっている。私も団地に住んでいるが、自治会の加入者が年々減少する中、コミュニティの崩壊が進みつつある。廃プラの産業界、行政、市民が連携した抜本的な取り組みが必要と思う。

* 生ごみの問題はまさに多種多様なので、ボールの投げ合いということではなしに、出来るところからやっていくという観点で行動している。

* 生ごみ処理はこれまで、ダンボール、ピートモストとかいろいろやってみたが、桜台の大型生ごみ処理機を使ってみたら、これが一番楽だった。

* 今は戸建用を使っているが、もし大型生ごみ処理機が入ればそれを使いたいと思う。個人では管理に大変な面もある。

* 地域での生ごみ処理をきっかけに、「ゴミニュケーション」が育ちつつある。

* 全国で2兆円がごみ処理に使われている。町田市民1人1万8千円になる。町田市も焼却炉の建て替えの時期を迎えるが、ごみを3分の1に減らすと現在3基ある炉を1基減らすことにより、年間4億円以上の税金を医療、福祉に向けることができるので経済的メリット、環境に良いというメリットがある。

議 私たちは「有料化」は反対だ。包装代も含めて商品を買って、そのごみを捨てる時にゴミ袋を買って、そのごみを焼却するために更に税金を払う、産業界から2重3重の負担

を負わされている。しかし現状は有料になっている以上、その基金を有効に使うべきだとは思っているが、拡大生産者責任も問うていく必要があるので当面はゴミ袋の値下げと抱き合わせでやっていくつもりだ。

議 基金の話だが、手数料は一般財源に入り歳出後、決算で積み立てるが不明朗な点があるので、今後明確にしていきたい。

議 ごみを定量以上出す人は有料にするという、考え方の方が良かったと思っている。有料化より減量の施策の方が必要なのではないのか。

* 有料化より減量の施策が必要、でないという意味が無い。

* 議員さんは市民の代表であるので、お互いの考えを理解し合い、意思の疎通を図って生きたい。議員さんと市民がひざを交えて話す機会は初めてだが、今後も機会を持ちたい。本日はご参加頂き有り難く思った。